

3月ダイヤ改に怒りの声を 常磐線10両ワンマン化反対!



J R東は、25年3月15日にダイヤ改を実施することを発表しました。

ワンマン運転についても常磐緩行線・綾瀬(取手間(10両編成)、南武線・川崎(立川間(6両編成))のワンマン化、小海線、水郡線でのワンマン拡大、東北本線・小金井(宇都宮間)の一部E-3系(ワンマン)化を打ち出しています。

安全切り捨ては許せない

これは11月に打ち出された首都圏主要7路線(常磐、南部、横浜・根岸、山手、中央・総武緩行、京浜東北・根岸、埼京・川越)でのワンマン化

と「車掌1000人削減」攻撃の始まりです。

特に常磐線10両ワンマン化は、初の長編成へのワンマン拡大です。

首都圏・長編成でのワンマン運転はこれまでとまったく違うレベルの攻撃です。

現状でも「モニターでは見えにく

い」という声も上がっています。「ホームドアや運転台モニタを設置したから」と拡大に踏み切るのは、完全な安全の切り捨てです。

反対の声をあげよう

J R四国は今年9月、「乗務員不足」を理由に減便に踏み切りました。さらに3月ダイヤ改でも、「乗務員不足」で予讃線や高德線など計23本の減便を行うとしています。

J R北海道では23年度の自己都合退職者が236名となり過去最高を更新し続けています。19年度以来の自己都合退職者はすでに1千人を超えています。

どちらも労働条件の悪化が問題とされています。J R東は「要員不足への対応」と言いますが、ワンマン化は乗務員の負担を増やすことになります。さらに、「ワンマン化を通して社員の就労意識を『人ならではの創造的な仕事』へシフト」などと上から目線で言っています。

自ら乗務員を減らすようなことをして、「要員不足」を理由にあげるなど許せません。私たちはワンマン化・車掌削減に反対します。ともに声を上げましょう。